

プログラミング教育 校内研修（１００分）の流れ

＊事前準備 パワーポイント「校内研修（R2 版）」
ファイル「初期設定（正多角形）.sb3」

- 1 「小学校プログラミング教育の概要 1・2」視聴 ＜１９分＞
（「小学校プログラミング教育の概要 2」は、7'14「～どのようなものがあるのでしょうか」まで視聴）
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1416408.htm
 - 2 コンピュータでプログラミング体験１ ＜体験２９分＋説明２分＞
Hour of Code 「古典的な迷路」(<https://studio.code.org/hoc/1>)
「校内研修（R2 版）」とガイドビデオを見ながら進める。
～2'23「これで古典的な迷路が始まります」で、一時停止⇒机間指導
～5'57「それではステージ５まで進めましょう」で、一時停止⇒机間指導
～9'32「それでは始めましょう」で、一時停止⇒机間指導～12'00⇒机間指導
※教え合い学習を教員も体験できるとよい。
体験後、スライド５～７で、プログラムの基本処理（順次・分岐・反復）について説明する。（ステージ６・１４がポイントになるので、それを想起させながら説明する。）
 - 3 授業プラン１「私たちの生活とコンピュータについて考えよう」の展開方法
＜５分＞
スライド８～２１を使って説明
 - 4 プログラミング体験２ ＜４０分＞
算数（５年） 「円と正多角形」
「Scratch」(<https://scratch.mit.edu/>)
スライド２２～３９を使って、体験させる。
※教え合い学習を教員も体験できるとよい。
 - 5 授業プラン４「円と正多角形」の展開方法 ＜５分＞
スライド４０～ を使って説明（できれば、算数・総合②もふれる）
- ※ 研修時間が１００分確保できない場合は、体験を一つにしたり、上記３や５の説明部分を省略したりするとよい。